

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種に係る要望について

知事のリーダーシップにより、他県に先んじて県営ワクチン接種センターが開設されたことに対し、深く感謝を申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の第4波により、本県もまん延防止等重点措置の適用を受け、予断を許しません。国では、高齢者ワクチン接種を7月末までに終わることを目標としており、自治体では、ワクチン接種を加速させるため、懸命な努力を行っております。

しかし、県内各市においては、医療現場は逼迫しており、地域の医師会の協力だけでは、打ち切れないと予測する自治体もあります。

また、今後の接種順位において、地域社会を維持するために、子供達と接する保育・教育従事者、障害者及び障害者施設従事者等まで配慮すべきと考えます。

加えて、接種方法においては、一般接種に移ると、居住する市町村よりも、勤務先等での接種が進むと考え、接種券の見直しも考慮すべきと思います。

そこで、下記のとおり、コロナワクチン接種に係る要望について、国・県として支援をしていただきたく、お願い申し上げます。

記

1 コロナワクチン接種の担い手確保等

- ・ 潜在的看護師の更なる活用へ向けての環境整備
- ・ 県歯科医師会へ歯科医師によるコロナワクチン接種要請
- ・ 県薬剤師会へ将来への薬剤師への接種行為拡大を視野に入れ、ワクチン希釈・充填等の協力要請
- ・ 救急救命士、臨床検査技師を新たな接種担い手としての検討

2 コロナワクチン優先接種の対象拡大

- ・ 接種対象外となる16歳未満の子供達に接する保育士、教職員等
- ・ 基礎疾患のない障害者
- ・ 障害者施設の従事者

3 ワクチン接種券の見直し

- ・ 一般接種へ移行の際、効率よく接種を完了するためには事業所等でのまとまった接種が重要となることから、一般接種に係る接種券については、市町村相互利用を可能とする県発行等の広域化

4 県営ワクチン接種センターの更なる充実

- ・ 県全域を対象とした市町村接種を補完する県営接種センターの整備拡充

5 ワクチン保存期間の延長

- ・ 5日間としているワクチンの保存要件を欧米と同様となるよう、早急に延長し、自治体における配送計画等の軽減を図ること。

6 ワクチン接種国庫補助金の拡充

- ・ 国が増額を行った高齢者接種に係る追加の交付金については、今後一般接種において、同様の課題が生じることのないよう、継続した措置を講じること。

令和3年5月27日

群馬県知事 山本 一太 様

群馬県市長会長 清水 聖 様

